



「牛の健康が第一」と寝床を砂にするなどの配慮を行う管内の酪農家も

酪農

# 生産抑制方針を3年ぶり転換 生乳受託量は猛暑影響から回復

## ◆2023年度生乳受託量 (ホクレン帯広支所)

|                    | 数量<br>(トン) | 前年比<br>(%) |
|--------------------|------------|------------|
| 4月                 | 10万6925    | 95.1       |
| 5月                 | 11万1487    | 95.0       |
| 6月                 | 10万7364    | 95.4       |
| 7月                 | 10万8179    | 94.5       |
| 8月                 | 10万3281    | 92.0       |
| 9月                 | 9万9306     | 93.3       |
| 10月                | 10万2680    | 95.1       |
| 11月                | 9万9226     | 96.2       |
| 12月                | 10万3709    | 97.6       |
| 1月                 | 10万6000    | 99.2       |
| 計<br>(23/4～24/1)   | 104万8158   | 95.3       |
| 全道計<br>(23/4～24/1) | 326万0033   | 95.8       |

1月現在は95・3％  
2月以降は前年度超え

十勝の今年度目標は前年度比96・77％の127万4845トンだが、ホクレン帯広支所の今年度の受託数量は1月末現在で前年度比95・3％(104万8158トン)にとどまっている。

夏の猛暑の影響で、昨年8月は同92・0％と大きく落ち込み、その後は徐々に回復している。

道農協酪農・畜産対策本部委員会(道酪対)は昨年11月、来年度の全道生乳生産目標を403万トンに設定。本年度当初比(399万トン)1％増とした。

コロナ禍で牛乳・乳製品の需要が減少し、この2年間は生産抑制が推し進められていたが、来年度は3年ぶりに方針が転換される。猛暑によって予想以上の減産となったことやバター不足への懸念が要因となった。

厳しさ増す経営環境  
粗飼料充実など模索

配合飼料や資材、燃料代などの高騰が続く、生産現場からは経営環境について、「昨年度に比べて今年度はさらに厳しい」との声が少なくない。自前の粗飼料を充実させたり、牛の健康管理にさらに力を注ぐなど、それぞれの酪農家がもがきながら現状打開への道を探っている。

道酪対は2026年度までの3年間は前年度目標比1％増を継続。最終的にはコロナ禍前の21年度目標水準となる411万トンを目指す。

に回復。11月は96・2％、12月は97・6％、今年1月は99・2％と上向きに。速報値ながら、2月上旬は100・4％、中旬は101・3％と前年度超えを果たした。



## 省力かつ低コストの堆肥(液肥)づくりと 確実な蹄管理を同時に



リサイクル・メイト®とフーフシューシリーズの併用で 牧場全体の環境浄化を!

嫌気性菌主体 家畜ふん尿専用発酵促進剤

**リサイクル・メイト®**を歩行通路に散布

- ① 悪臭・ハエ・ウジの発生を抑制、省力的・低コストでふん尿を良質発酵
- ② 牛の趾皮膚炎(DD)由来トレポネーマの増殖を強力に抑制
- ③ 股裂き、転倒につながる通路の滑りやすさを大幅に改善

- 宮崎大学 三澤先生(獣医学博士)の研究室においてDD由来トレポネーマの増殖を強力に抑制することが判明
- 酪農学園大学 村上先生(獣医学博士)の研究室による現地試験においてもDDの発生を予防する効果が確認された
- 通路への散布で滑りやすさの原因のぬめり(バイオフィルム=生物膜)を分解



※医薬品ではありません

フットバス・噴霧器用 蹄管理・保護資材

**フーフシューシリーズ**を直接蹄に

重金属類・抗生物質・発がん性物質不使用のため、環境と人畜、さらにスラリー・バイオガス等の発酵への負荷と土壌への汚染もない



- 世界的に著名な獣医師ロジャー・ブローウィ先生と英国クイーンズ大学の協力により開発
- 欧米とアジアの権威ある複数の大学と学会で「硫酸銅・ホルマリンと同等以上の効果が確認できた」と発表
- 「エンデュランス」は2022年4月 日本での特許を取得

※医薬品ではありません